

# Sitecore 6.5

# Engagement Analytics API リファレンス ガイド

開発者向け Engagement Analytics API リファレンス ガイド



# 目次

第 1 章	イントロダクション	3
第2章	Engagement Analytics API	
2.1	Sitecore. Analytics. Tracker	
2.2	Sitecore. Analytics. Data. Data Access. Visitor	
2.3	Sitecore. Analytics. Visit	
2.4	Sitecore. Analytics. Tracker Data Context	
2.5	Sitecore. Analytics. Data. Tracker Changes	
2.6	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataAdapters.SqlBase	14
2.7	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitorsRow	
2.8	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitsRow	
2.9	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.PagesRow	
2.10	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.PageEventsRow	21
2.11	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.AutomationStatesRow	22
2.12	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.GeolpsRow	23
2.13	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.LocationsRow	24
2.14	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.CampaignsRow	25
2.15	Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.ProfilesRow	



# 第1章

# イントロダクション

この文書は、Sitecore Engagement Analytics API について説明します。Engagement Analytics API の情報を必要とする開発者に役に立つ内容となっています。クラス機能や、重要なプロパティ/メソッドについて説明します。

このマニュアルには次の章があります。

- 第1章—イントロダクションこの章では、ガイドの概要について説明します。
- 第2章—Engagement Analytics API この章では、API の詳細について説明します。



# 第2章

# **Engagement Analytics API**

この章では、Sitecore Engagement Analytics API で使用頻度が高いクラスについて説明します。 章内の各セクションが、API の重要なクラスに対応しています。各セクションには、クラス ダイアグラム と、クラスのプロパティとメソッドが記述されたテーブルが記載されています。

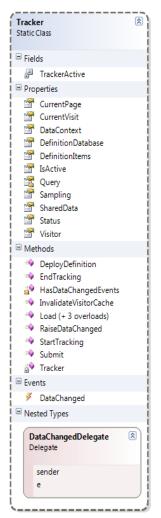
この章には次のセクションがあります。

- Sitecore.Analytics.Tracker
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.Visitor
- Sitecore.Analytics.Visit
- Sitecore.Analytics.TrackerDataContext
- Sitecore.Analytics.Data.TrackerChanges
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataAdapters.SqlBase
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitorsRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitsRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.PagesRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.PageEventsRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.AutomationStatesRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.GeolpsRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.LocationsRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.CampaignsRow
- Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.ProfilesRow



# 2.1 Sitecore.Analytics.Tracker

Sitecore.Analytics.Tracker は、各訪問者の追跡に使用する統計クラスです。クラスを作成したり、製造元やプロバイダーから入手する必要はありません。クラスは、アナリティクスのコンテキストにアクセスする機能を提供します。



Tracker クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

プロパティ	説明
Static Visitor Visitor	訪問中に追跡される訪問者を表します。 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.Visit or クラスのインスタンスです。
<pre>static VisitorDataSet.Visit sRow CurrentVisit</pre>	現在のビジットを表します。VisitorDataSet. VisitsRow クラスで表されるデータベース内のレコードに直接対応します。 VisitorDataSet.VisitsRow クラスのインスタンスです。
static VisitorDataSet.Pages Row CurrentPage	現在のページ要求を表します。
static TrackerDataContext DataContext	ビジットのデータを処理するためのユーティリティ メソッドを示します。
static bool IsActive	現在の要求でアナリティクスのアドオンが有効か どうかを示します。
static Database DefinitionDatabase	定義データベースを取得します。
static AnalyticsItems DefinitionItems	定義アイテムを取得します。 DefinitionDatabase プロパティのアナリティクス定義への参照を返します。



Tracker クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

メソッド	説明
static void Submit()	現在のコンテキストでの変更をアナリティ クス データベースに送信します。
	メモ Engagement Analytics は、要求時に 生じたすべての変更を、要求終了時に 自動的に送信します。そのため、このメ ソッドを HTTP 要求コンテキストでコール する必要はありません。
<pre>static void StartTracking()</pre>	StartTracking パイプラインは、現在のビジットとページビューの情報を元にTracker クラスを初期化します。
	また、ページ イベントやキャンペーンをトリ ガーとするクエリ文字列パラメーターを処 理します。
	このメソッドは、ParseReferrer パイプラインを呼び出して、検索エンジンおよび検索キーワードを訪問と関連付けるために使用することもできます。プロセッサーは、StartTrackingArgs.タイプの引数を受け取ります。
<pre>static void EndTracking()</pre>	追跡プロセスを終了し、IsActive プロパティを False に設定し、ページ要求時に作成された訪問者データセットへの変更を送信します。
<pre>static void Load(VisitorLoadOptions visitorVisitorLoadOptions)</pre>	これらのメソッドは、前回のビジットのデー
<pre>static void Load(LoadOptions loadOptions)</pre>	タを読み込みます。読み込まれるデータは、Visitor クラスのデータセットの
<pre>static void Load(SharedDataLoadOptions sharedDataLoadOptions)</pre>	データです。



メソッド	説明
<pre>static void Load(VisitorLoadOptions visitorVisitorLoadOptions, SharedDataLoadOptions sharedDataLoadOptions)</pre>	Note LoadOptions は、 VisitorLoadOptions のラッパー クラスであり、オブジェクトの作成オプションを広げる便利な API を提供します。
<pre>static bool DeployDefinition(Item item)</pre>	指定されたアイテムの定義を展開します。 展開が成功した場合、True を返します。

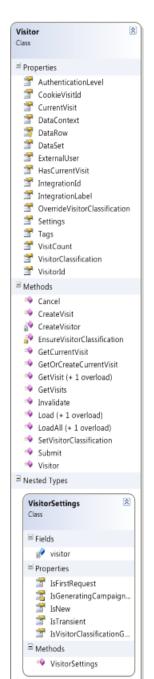


# 2.2 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.Visitor

訪問者クラスは、特定の訪問者のビジットの管理に使用します。

#### メモ

Visitor クラスのプロパティとメソッドに直接アクセスできます。



Visitor クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

プロパティ	説明
Guid VisitorId	訪問者ごとに一意な GUID です。
VisitorDataSet.VisitsRow CurrentVisit	VisitorDataSet.Visits クラスのインスタンスです。 現在のビジットを表します。 VisitorDataSet.VisitsRow クラスで表されるデータベース内のレコードに直接対応します。
TrackerDataContext DataContext	ビジット データにアクセスするためのユーティリ ティ メソッドを示します。

Visitor クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

メソッド	説明
<pre>void Load(VisitorLoadOptions visitorLoadOptions)</pre>	前回のビジット時のデータを読み込みます。 読み込まれるデータは、Visitor クラスの データセットのデータです。
<pre>void LoadAll(VisitLoadOptions visitLoadOptions, VisitorOptions visitorOptions)</pre>	すべてのビジットに関するデータを読み込みます。
virtual void Submit()	変更を受理し、データベースにコミットします。
virtual void Cancel()	変更を拒否します。

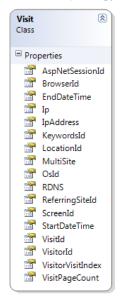


# 2.3 Sitecore.Analytics.Visit

1 つのセッションは、1 つのビジットを表します。セッションとは、1 回のブラウザー セッションで 1 つの Web クライアントから 送信される一連のページアクセスのことであり、それらのページに関連付けられたすべてのイベントを含みます。ビジットの詳細については、「Sitecore. Analytics. Data. Data Access. Data Sets. Visits Row」のセクションを参照してください。

Visitor クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

-frue= .

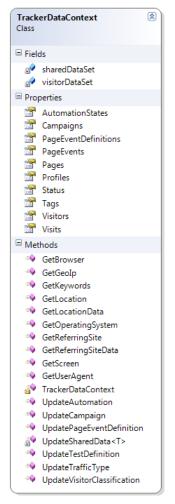


プロパティ	説明
Guid VisitId	ビジットごとに一意な GUID です。
Guid VisitorId	訪問者ごとに一意な GUID です。
Guid BrowserId	Internet Explorer、Mozilla、Google Chrome などのブラウザーごとに一意な GUID です。
Guid ScreenId	1024x768、1280x900 などの画面設定ごと に一意な GUID です。
Guid ReferringSiteId	訪問者がリダイレクトされたサイトごとに一意な GUID です。
Guid OsId	オペレーティング システムごとに一意な GUID です。
Guid LocationId	訪問者の所在地ごとに一意な GUID です。
<pre>int VisitorVisitIndex</pre>	個々の訪問者のビジット回数を数えるのに使 用します。
<pre>int VisitPageCount</pre>	ビジット回数を記録するよう設定されている ページごとにビジット回数を記録するカウンターです。
byte[] Ip	訪問者の IP です。
DateTime StartDateTime	ビジット開始時刻です。
DateTime EndDateTime	ビジット終了時刻です。



# 2.4 Sitecore.Analytics.TrackerDataContext

TrackerDataContext は、訪問者のコンテキストを照会するクラスです。現在の訪問者のプロパティの取得、更新に使用します。



TrackerDataContext クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

プロパティ	説明
<pre>IEnumerable<visitordatase t.visitortagsrow=""> Tags</visitordatase></pre>	訪問者のアナリティクス属性を保存します。訪問者の詳細については、「Sitecore.Analytics.Data.DataAccess. DataSets.VisitorsRow」のセクションを参照してください。
	重要 アナリティクス タグは、セキュリティ プロファイル およびアナリティクス プロファイルとは異なります。1 アナリティクス タグは、ビジットにではなく 訪問者に適用されます。
	メモ アナリティクス タグの値は、訪問者に適用されます。同じ訪問者が 2 種類のユーザーエージェントを使用して Web サイトにアクセスした場合、アナリティクス エンジンは別々のタグ値で 2 つのセッションを記録します。
<pre>IEnumerable<visitordatase t.profilesrow=""> Profiles</visitordatase></pre>	「 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess. DataSets.VisitsRow」のセクションのプロ ファイルの説明を参照してください。

http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20Reference.aspx から『セキュリティ リファレンス』を参照してください。

<sup>1</sup>ユーザープロファイルの詳細については、



TrackerDataContext クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

メソッド	説明
VisitorDataSet.BrowsersRow GetBrowser(string majorName, string minorName, string version)	指定されたブラウザー レコードをメモリ データセットから取得、またはデータセッ トに作成します。
<pre>VisitorDataSet.GeoIpsRow GetGeoIp(byte[] ip)</pre>	指定された IP アドレスに対し、GeoIP レコードをメモリ データセットから取得、 またはデータセットに作成します。
VisitorDataSet.KeywordsRow GetKeywords(string keywords)	検索キーワード レコードをメモリ データ セットから取得、またはデータセットに作 成します。
VisitorDataSet.LocationsRow GetLocation(string name, string country)	指定された場所レコードをメモリ データ セットから取得、またはデータセットに作 成します。
VisitorDataSet.LocationsRow GetLocationData(Guid locationId)	場所レコードを、ID で識別されるメモリ データセットから取得します。
VisitorDataSet.OSRow GetOperatingSystem(string majorName, string minorName, string version)	指定されたオペレーティング システムの レコードをメモリ データセットから取得、 またはデータセットに作成します。
VisitorDataSet.ReferringSit esRow GetReferringSite(string host)	指定された参照サイト レコードをメモリ データセットから取得、またはデータセッ トに作成します。
VisitorDataSet.ReferringSit esRow GetReferringSiteData(Guid referringSiteId)	ID ごとに参照サイト レコードを取得します。
VisitorDataSet.ScreensRow GetScreen(string dimensions)	指定された画面解像度に対する画面 レコードをメモリ データセットから取得、 またはデータセットに作成します。



メソッド	説明
VisitorDataSet.UserAgents Row GetUserAgent(string userAgent)	指定されたユーザー エージェントのレコードをメモリ データセットから取得、またはデータセットに作成します。ユーザーエージェントとは、Web ブラウザー、メール クライアント、RSS リーダー、ダウンロード マネージャー、ロボットなど、Webサイトにアクセスするようなソフトウェアすべてを指します。

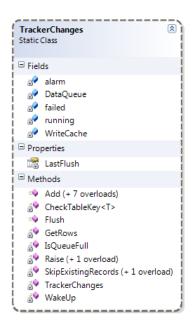


# 2.5 Sitecore. Analytics. Data. Tracker Changes

TrackerChanges は、tracker クラスを通じてパイプラインで送信されたすべての変更のキューの役割を果たす静的クラスです。このプロセスで TrackerChanges クラスを使用する最大の理由は、データベースへのアクセスを最小限に抑えることです。変更が生じた、訪問者に関連するすべてのプロパティは、まず TrackerChanges のキューへと登録してから、設定ルールに従いデータベースにコミットされます。

#### メモ

アナリティクスのデベロッパーがこのクラスを使用することはまれです。パフォーマンスの向上に使用されます。

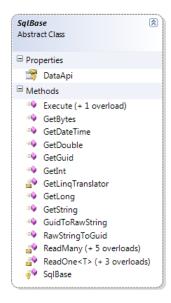




# 2.6 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataAdapters.SqlBase

SqlBase は、アナリティクス データベース上にカスタム クエリを作成するために開発者が使用するメソッドが含まれている、抽象クラスです。次の静的プロパティを使用して、このクラス実装のインスタンスにアクセスできます。 Sitecore. Analytics. Data. DataAccess. DataAdapters. DataAdapterManager. Sql

標準的なデータプロバイダーは、Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataAdapters.Sql.Sqlを介してこのクラスを実装します。



VisitsRow クラスで最も重要なメソッドは、次のとおりです。

メソッド	説明
<pre>virtualint Execute(string commandText, paramsobject[] parameters)</pre>	クエリを実行して、影響を受けた行の数 を返します。
<pre>virtual T ReadOne<t>(string commandText, Func<dataproviderreader, t=""> selector, Func<t> defaulter, paramsobject[] parameters)</t></dataproviderreader,></t></pre>	タイプ T のインスタンスを 1 つ読み取ります。
<pre>Virtual List<t> ReadMany<t>(string commandText, Func<dataproviderreader, t=""> initializer, int maxEntries, paramsobject[] parameters)</dataproviderreader,></t></t></pre>	タイプ T のインスタンスを複数読み取り ます。

#### メモ

SQL プロバイダーと無関係にクエリを実行するために、SqlBase クラスのメソッドで提供される擬似 SQL 構文を使用することができます。

#### 擬似 SQL 構文

通常の SQL 式と擬似 SQL 式との主な違いは、次のとおりです。

擬似 SQL 式では、すべてのテーブル名とフィールド名を特殊な記号でラップする必要があります。この記号は、後に適切な引用符と角かっこを SQL 式に挿入するために使用されます。以下に例を示します。

• テーブル名およびフィールド名の前後には {0} および {1} の記号を使用する必要があります。

# Example "select {0}Campaigns{1}.{0}CampaignId{1} from {0}Campaigns{1}"



• パラメーターの前後には {2} および {3} の記号を使用する必要があります。

```
Example
"where {0}CampaignId{1} = {2}campaignId{3}"
```

引用符を挿入するには {4} 記号を、ワイルドカードを挿入するには {5} 記号を使用する必要があります。

```
Example
"where {0}Path{1} LIKE {4}/sitecore/{5}{4}"
```

空の文字列リテラルを挿入するには、(6) 記号を使用する必要があります。

```
Example
"where {0}Value{1} != {6}"
```

#### メモ

DMS で最近登録された訪問の Visit ID を取得するには、ReadOne メソッドを使用します。

```
string query = "select
   top 1 {0}Visits{1}.{0}VisitId{1} from {0}Visits{1} order by {0}StartDateTime{1} desc;"
   Guid visitorId = DataAdapterManager.Sql.ReadOne< Guid > (query, reader =>
DataAdapterManager.Sql.GetGuid(0, reader), new object[0]);
```

最近の訪問において何らかのエラーが登録された訪問の ID リストを取得するには、ReadMany メソッドを使用します。



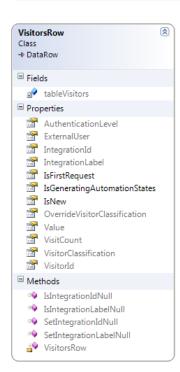
## 2.7 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitorsRow

VisitorsRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスを使用して、トラッカー内に収集されたすべての訪問者に関するデータにアクセスできます。訪問者の詳細については、「Sitecore. Analytics. Data. Data Access. Visitor」のセクションを参照してください。

訪問者とは、同じユーザー エージェントからの個別の複数のビジットに対応します。ビジットの詳細については、「Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitsRow」のセクションを参照してください。

#### 火モ

Web クライアントの cookie により、訪問者セッションは 1 年で無効になります。



Visitor クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

プロパティ	説明
bool IsFirstRequest	このインスタンスが、行内の最初の要求かどうかを表す値を設定、または取得します。
bool IsNew	このインスタンスが、行内の新規の要求かどう かを表す値を設定、または取得します。



#### 2.8 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.VisitsRow

VisitsRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスを使用して、このクラスを通してトラッカー内に収集されたすべてのビジットに関するデータにアクセスできます。ISupportsTesting インターフェースを実装します。ビジットの詳細については、「Sitecore. Analytics. Visit」のセクションを参照してください。

SupportsTesting VisitsRow → DataRow ∃ Fields □ Properties AreaCode AspNetSessionId Browser BusinessName CampaignId City Country CurrentPage EndDateTime GeoIp HasGeolpData Keywords KeywordsId Tatitude LoadedVisitOptions Location LocationId T Longitude MetroCode MultiSite MextPage OperatingSystem Osld PostalCode PreviousPage Profiles RDNS Referre ReferringSite ReferringSiteId Region Screen ScreenId StartDateTime TestSetId TestValues TrafficType UserAgent UserAgentId Malue VisitId VisitorDataSet VisitorId

VisitsRow クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

#### 説明

IEnumerable<ProfilesRo
w> Profiles

プロパティ

アナリティクスの各訪問中に収集された情報が含まれています。アナリティクスプロファイル値をコンテンツアイテムに割り当てて、ユーザーがそのコンテンツにアクセスしたときにユーザーのアナリティクスプロファイルを自動的に更新することができます。ビジットの詳細については、「Sitecore. Analytics. Visit」のセクションを参照してください。

#### 重要

アナリティクス プロファイルは、セキュリティ プロファイルやアナリティクス タグとは異なります $^2$ 。アナリティクス プロファイルは、ユーザーや訪問者ではなく、個々の Web クライアントの個々のビジットに適用されます。アナリティクス タグの詳細については、「Sitecore.Analytics.TrackerDataContext」のセクションの Tags プロパティの説明を参照してください。

#### 火モ

アナリティクス プロファイルの値は、個々の Web クライアントの個々のビジットに適用されます。同じ訪問者が 2 種類のユーザー エージェントを使用して Web サイトにアクセスした場合、アナリティクス エンジンは別々のプロファイル値で 2 つのビジットを記録します。

VisitorVisitIndex
VisitPageCount

http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Security%20Reference.aspx から『セキュリティ リファレンス』を参照してください。

<sup>2</sup>ユーザー プロファイルの詳細については、



■ Methods CreatePage (+ 1 overload) CreateProfile GetOrCreateCurrentPage GetOrCreateNextPage GetOrCreateProfile → GetPage GetPages IsCampaignIdNull ◆ IsTestSetIdNull IsTestValuesNull LoadAttributes SetCampaignIdNull SetGeoIpData SetTestSetIdNull SetTestValuesNull UpdateGeo[pData (+ 1 overload) VisitsRow

VisitsRow クラスで最も重要なメソッドは、次のとおりです。

メソッド	説明
<pre>virtual PagesRow CreatePage()</pre>	メモリ データセットに新たなページ行を 無条件に作成し、要求の現在ページ に設定します。
ProfilesRow CreateProfile(string profileName)	指定されたプロファイル名の新たなプロ ファイル行を作成します。
PagesRow GetOrCreateCurrentPage()	現在のページのページ行を取得し、行 が存在しない場合作成します。
PagesRow GetOrCreateNextPage()	「次の」ページのページ行を取得します。該当する行が存在しない場合は、 新たに作成します。
ProfilesRow GetOrCreateProfile(string profileName)	指定したプロファイルのプロファイル行を 取得し、行が存在しない場合は作成 します。
<pre>virtual PagesRow GetPage(int pageNumber)</pre>	指定したページ番号のページを取得します。
<pre>Virtual IEnumerable<pagesrow> GetPages()</pagesrow></pre>	このビジットのすべてのページを取得し ます。
<pre>void LoadAttributes()</pre>	ユーザー エージェント、ブラウザー、オペレーティング システム、画面、キーワード、参照サイトなどの個々のテーブルに保存された、ビジットのすべての属性を読み込みます。
bool UpdateGeoIpData()	ビジットの GeoIP データが利用可能な場合、更新します。データが正常に更新された場合、またはデータが既に最新である場合、True を返します。

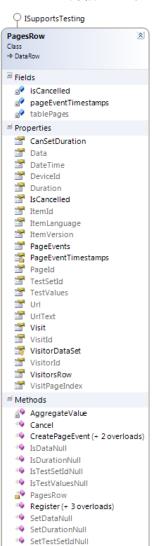


## 2.9 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.PagesRow

PagesRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスであり、ISupportsTesting インターフェースを実装します。このクラスを通してトラッカー内に収集されたすべての訪問者に関するデータにアクセスできます。

ページは、セッションでのページを表します。ユーザーの訪問における前のページ、現在のページ、次のページにイベントを関連付けることができます。

ユーザーのセッションにおける前のページ、現在のページ、次のページにイベントを関連付けることができます。アナリティクスページの詳細については、「ページ要求の追跡」のセクションを参照してください。



SetTestValuesNull

Visitor クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

プロパティ	説明
bool CanSetDuration	訪問者がページの表示に費やした時間をインスタンスが設定できるかどうかを示す値を設定、または取得します。すべての通常ページに対して時間を設定できます。メディアとVisitorIdentification。aspxページには時間は設定すべきではありません。  True: このインスタンスが時間を設定できる場合。
bool IsCancelled	このページがキャンセルされたかどうかを示す値を取得します。  True: このページ インスタンスがキャンセルされた場合。
<pre>IEnumerable<pageeventsrow> PageEvents</pageeventsrow></pre>	ページ イベントを取得します。
VisitsRow Visit	ビジットを取得します。
VisitorsRow VisitorsRow	訪問者行を取得します。



PagesRow クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

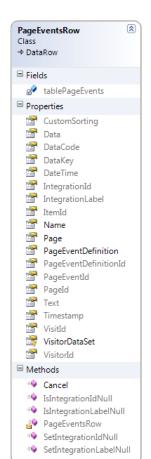
メソッド	説明
<pre>virtual PageEventsRow CreatePageEvent(PageEven tDefinitionsData pageEventDefinition)</pre>	ページ イベントを作成し、ページ イベントの行イ ンスタンスに追加します。
PageEventsRow Register(PageEventData data)	ページ イベントとページを関連付け、対応するページ イベントの行インスタンスを更新します。 パラメーター: data — ページ イベントと共に格納可能なすべての属性。
PageEventsRow Register(PageEventItem eventItem)	ページ イベントとページを関連付け、対応するページ イベントの行インスタンスを更新します。 パラメーター: eventItem — 関連付けるイベント アイテム。
PageEventsRow Register(string name, string text)	ページ イベントとページを関連付け、対応するページ イベントの行インスタンスを更新します。 パラメーター:  name ー ページ イベント名  text ー 関連付けられた説明テキスト。
void Cancel()	ページの追跡をキャンセルし、IsCancelled プロパティを <i>True</i> に設定します。



#### 2.10 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.PageEventsRow

PageEventsRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスを通してトラッカー内に収集されたすべての訪問者に関するデータにアクセスできます。

ページイベントは、アナリティクスページに関連付けられるイベント、ゴール、未達成を表します。



PageEventsRow クラスの最も重要なプロパティは次のとおりです。

プロパティ	説明
string Name	ページ イベント定義の名前を取得します。

PageEventsRow クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

メソッド	説明
<pre>void Cancel()</pre>	ページ イベントの追跡をキャンセルします。
	AcceptChanges. AcceptChanges が PagesRow クラスの CreatePageEvent のメ ソッド内のネストしたメソッドであるため、ページ イベ ント行へのすべての変更を拒否します。

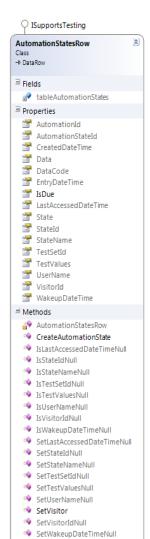


# 2.11 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.AutomationStates Row

AutomationStatesRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスを通してトラッカー内に収集されたすべての訪問者に関するデータにアクセスできます。ISupportsTesting インターフェースを実装します。

#### JŁ

AutomationStates クラスを直接使用することはまれです。



Update

AutomationStatesRow クラスで最も重要なプロパティは、次のとおりです。

プロパティ	説明
System.Guid AutomationStateId	自動状態ごとに一意な GUID です。
bool IsDue	この自動状態の期限に達したかどうかを示す値を 設定、または取得します。
	期限に達した場合、True を返します。

AutomationStatesRow クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

メソッド	説明
static AutomationStatesRow CreateAutomationStat e(AutomationStatesDa taTable automationStatesData Table, Guid automationStateId)	自動状態を作成します。
void SetVisitor(Visitor visitor)	特定の訪問者を自動状態にバインドします。
static AutomationStatesRow Update (AutomationStatesDataTable automationStatesDataTable, Guid automationStateId, Guid automationId, DateTime dateTime, string data, Guid stateId)	特定の自動状態を更新します。  更新されるプロパティは次のとおりです:  AutomationStateId  AutomationId  CreatedDateTime  Data  StateId

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。Copyright © 2001-2012 Sitecore. All rights reserved.

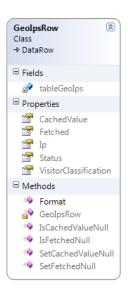


# 2.12 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.GeolpsRow

GeoIpsRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスは、キャッシング テーブルとして動作します。

#### チと

GeoIpsRow クラスを直接使用することはまれです。GeoIP 情報は、VisitsRow クラスから入手可能です。



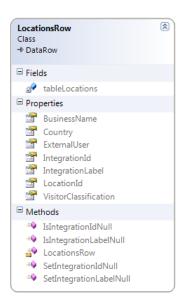


#### 2.13 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.LocationsRow

LocationsRow は、VisitorDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスは、レポート テーブルとして動作します。

#### УŦ

LocationsRow クラスを直接使用することはまれです。LocationsRow 情報は、VisitsRow から入手可能です。



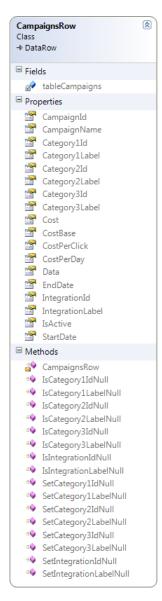


#### 2.14 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.CampaignsRow

CampaignsRow は、SharedDataSet クラス内の部分クラスです。このクラスは、キャンペーン情報を含むレポートテーブルとして動作します。

キャンペーンとは、1 つまたは複数のメディア チャンネルを通じて製品やサービス、その他の提供物に対する関心を促進しようとするマーケティング手法です。Analytics Engagement のユーザーは、キャンペーンでアナリティクス データをフィルターできます。

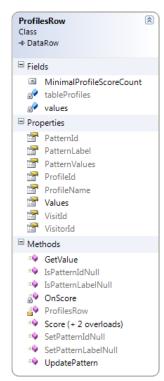
デベロッパーは、VisitsRow クラスの CampaignId プロパティを使用してキャンペーン情報にアクセスできます。





# 2.15 Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataSets.ProfilesRow

ProfilesRow は、VisitorsDataSet クラス内の部分クラスです。



ProfilesRow クラスで最も重要なプロパティは、次のとおりです。

プロパティ	説明
VisitProfile Values	キー/値のペアを格納します。次はその例で す: OrganicFood=10、Meat=200、 Vegetables=10、Dairy=50。

ProfilesRow クラスの最も重要なメソッドは次のとおりです。

メソッド	説明
Float GetValue(string profileKeyName)	プロファイル キーのキー/値のペアを取得し ます。
<pre>void Score(Dictionary <string, float=""> profile)</string,></pre>	
<pre>void Score(string key, float value)</pre>	このメソッドは、特定のプロファイルを記録します。
<pre>void Score(ContentProfile profileName)</pre>	<b>Ф</b> 7 о